

ICTの活用だより②

～活用しようICT 目標は1日1回以上！！～



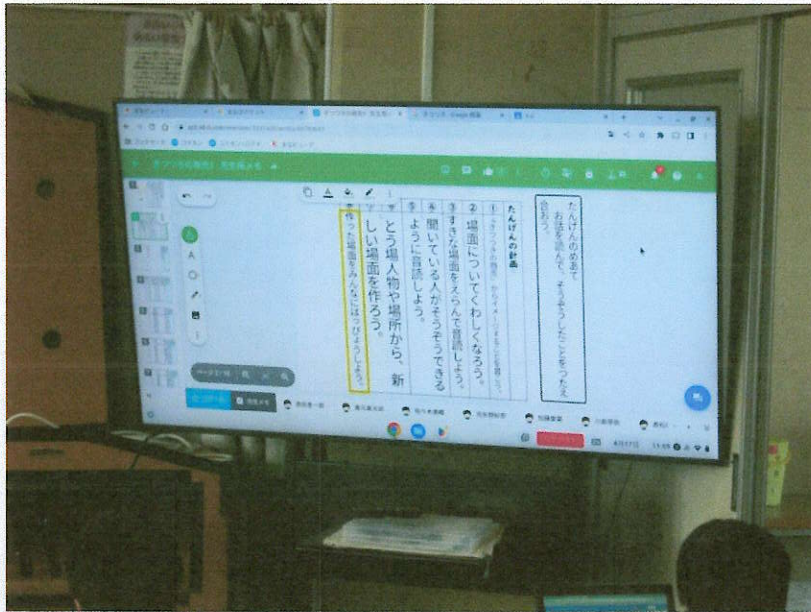
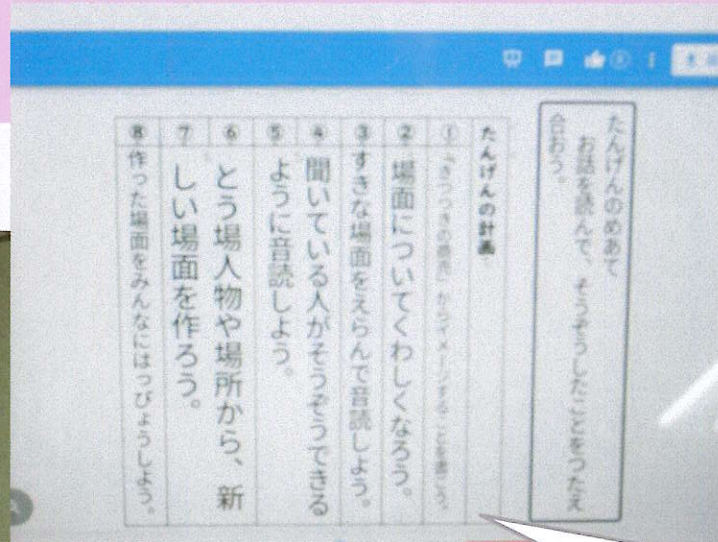
3年生の取組

国語の学習カードをスクールタクトで行い、学年で共有して活用する。

メリット

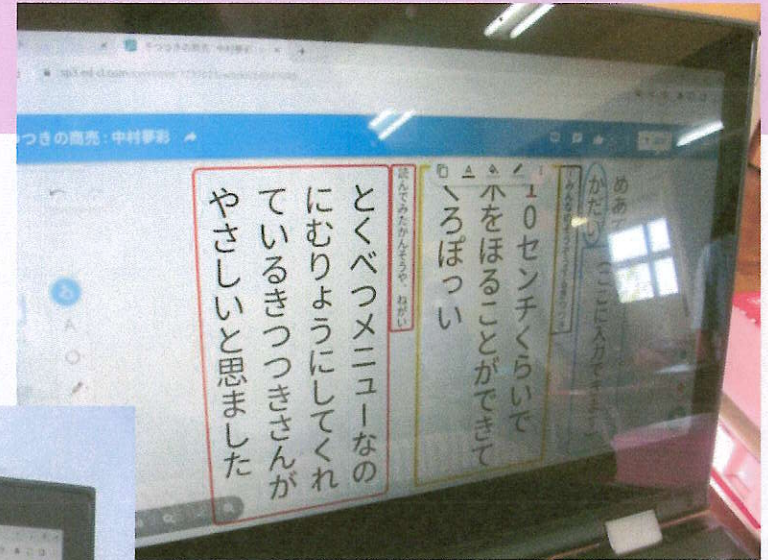
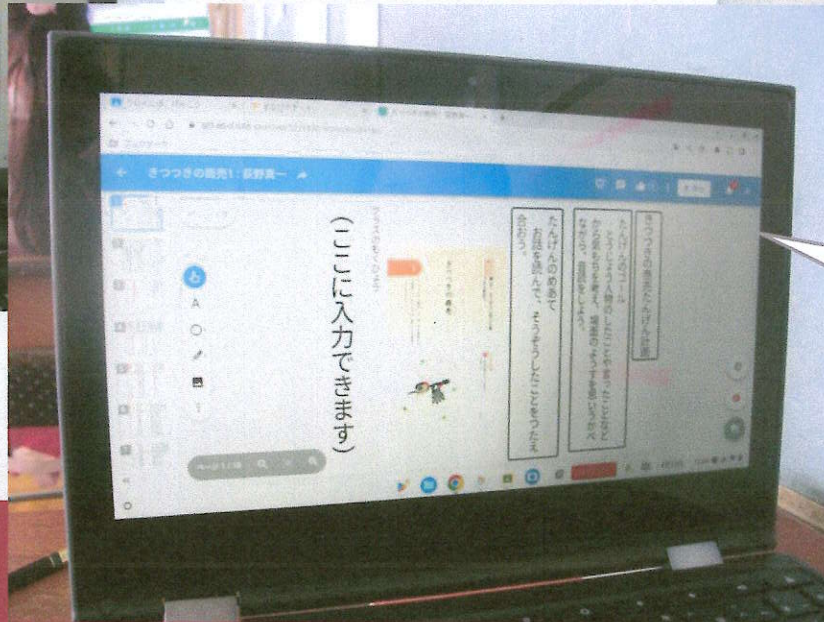
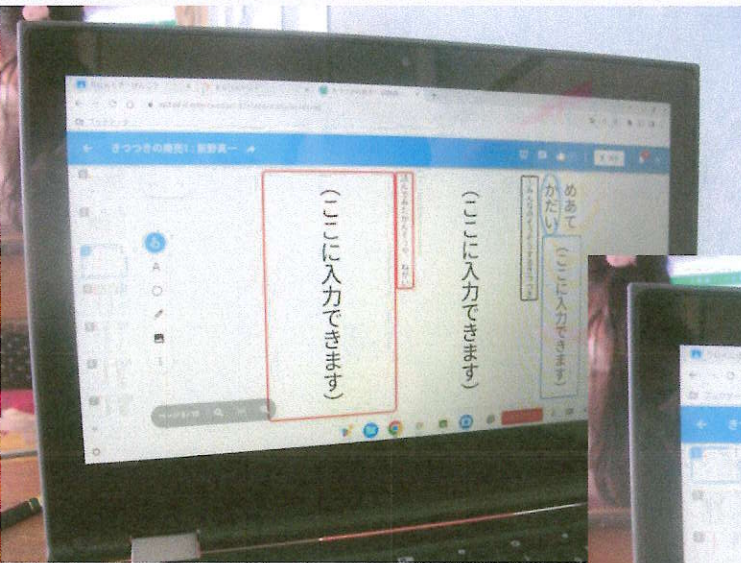
- ・担当を決めて、作成することで、働き方改革につながる。(バランスよく分担してください)
- ・学年で同一步調で学習を進めることができる。
- ・自分が普段あまりやらない進め方にもトライできる。

3年生の取組



単元計画を子
供と一緒に作
成！！

3年生の取組



時間ごとの
シートを作成

3-3の実践

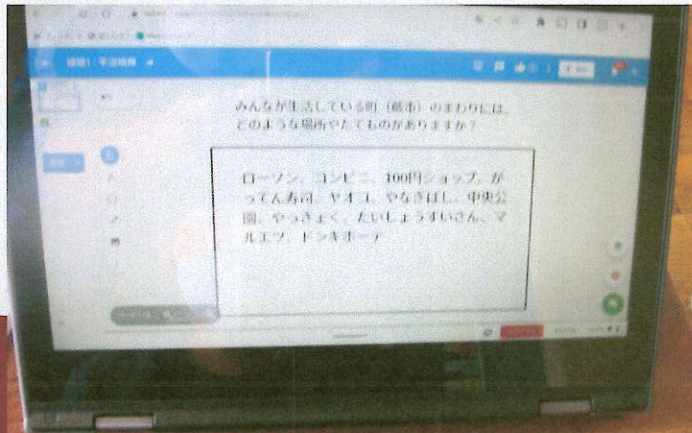
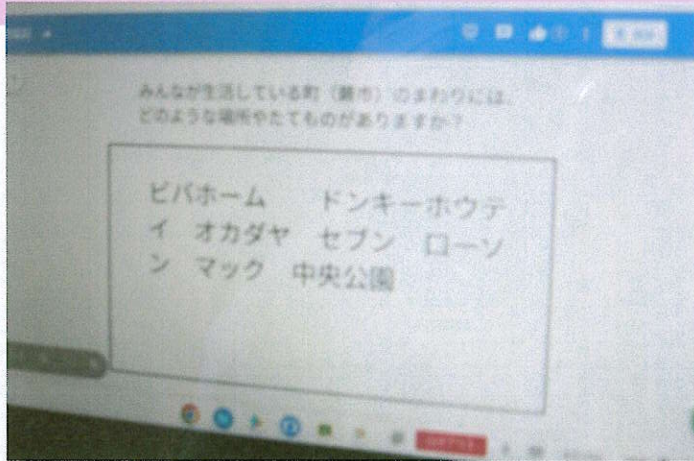
社会の学習で「藤市にあるもの」について、スクールタクトに入れて、みんなで共有。

メリット

テレビで一括で確認することが可能

発達段階に応じて、板書に移すことで共有することも大切

3-3の実践



5-2の実践

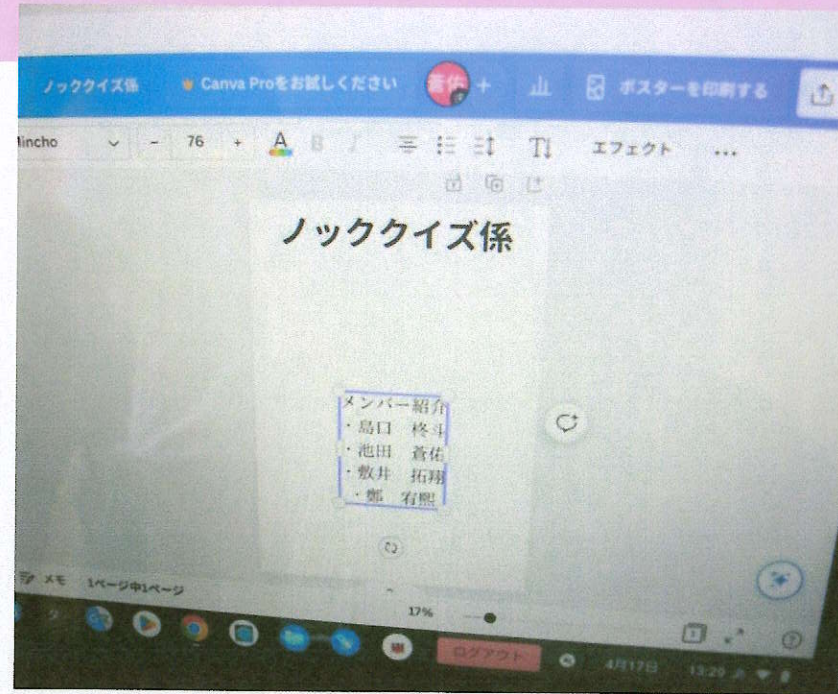
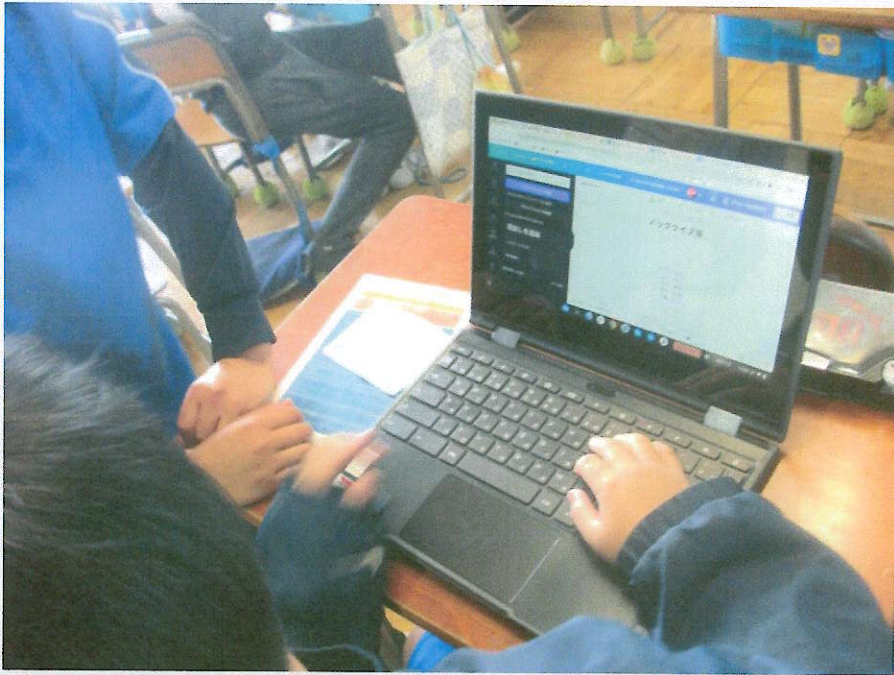
キャンバを使って、係のカードを作成

メリット

共同で編集ができる

昨年度からキャンバは委員会により、有償版と同じ機能が使用可能になりました。

5-2の実践



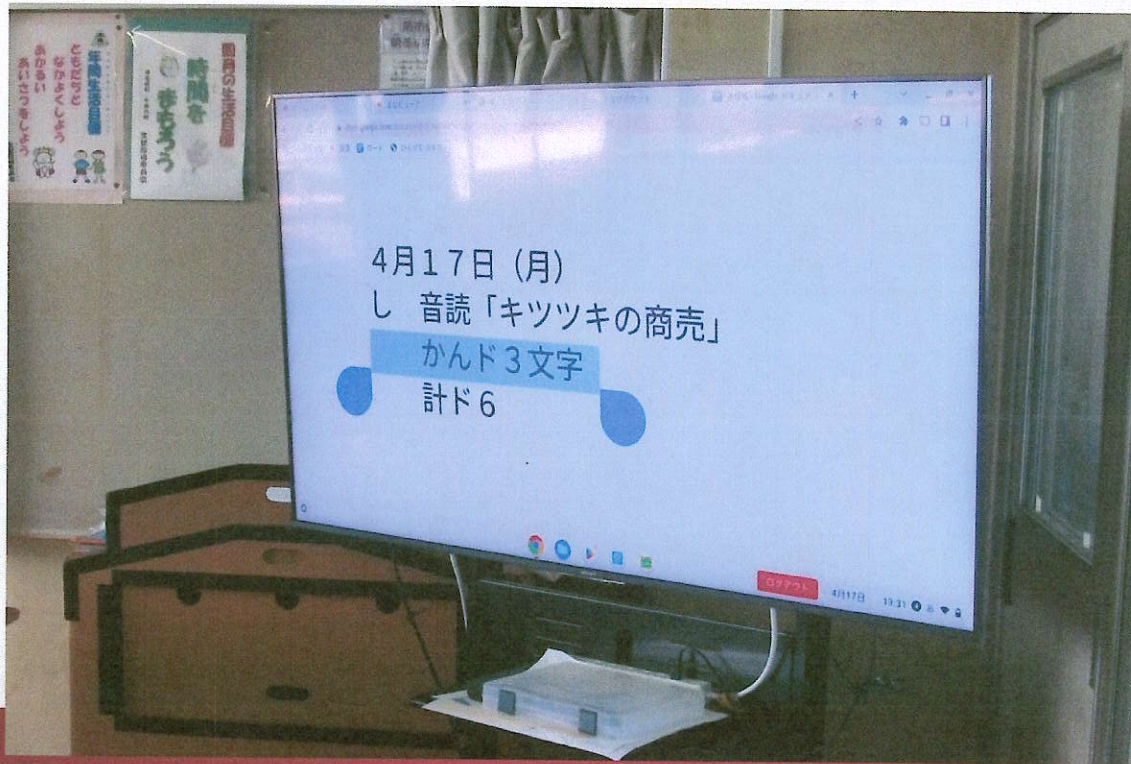
3-1の実践

連絡帳の連絡をテレビでうつす

メリット

書かせる時ではなく、先生が自分の準備したいときに準備できる

3-1の実践



4-2の実践

埼玉県の知りたい市の情報を調べる

メリット

興味関心に応じて、学習できる

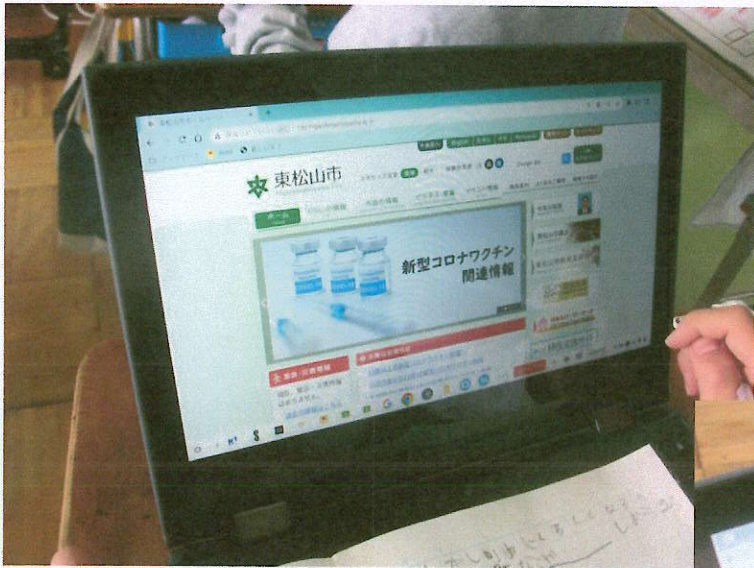
地図帳等と合わせて、自分段階に応じて情報の取得するための手段を選択できる。

デメリット

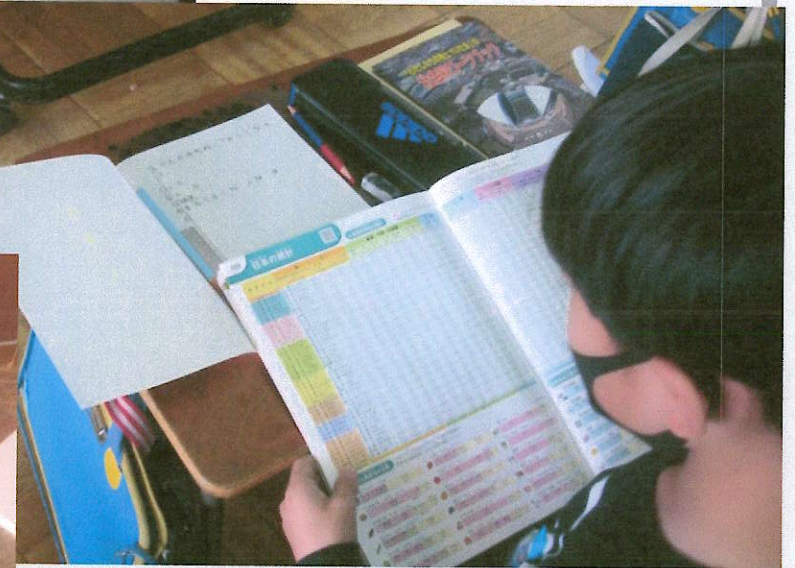
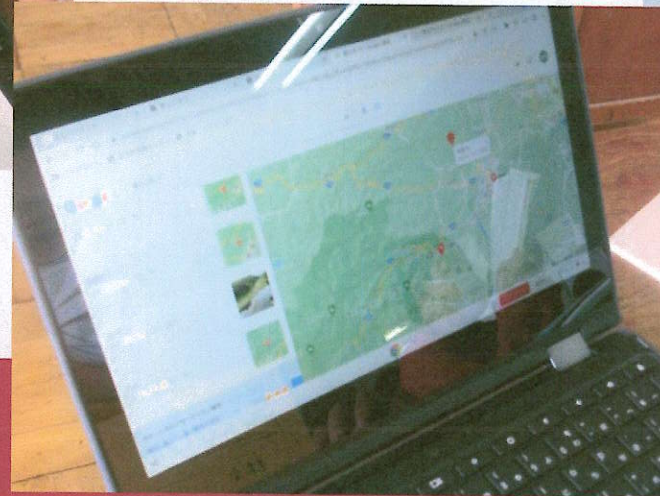
調べる範囲が広いので、調べ方やサイトの限定をするとよい

(マナポケでワークシート化して、URLを張り付けることもできる)

4-2の実践



行政区	人口数	世帯数
さいたま市全体	634,697	2,340,923
中央区	664,518	676,405
東区	217,443	6,167.1



その他の実践

・イーライブラリの活用(3年、4年、5年)



フラッシュカード(3年1組)

学習の仕方を一度指導し、
算数の学習で早く終わった
子たちが、復習、適用
問題として活用!

4年1組、5年1組